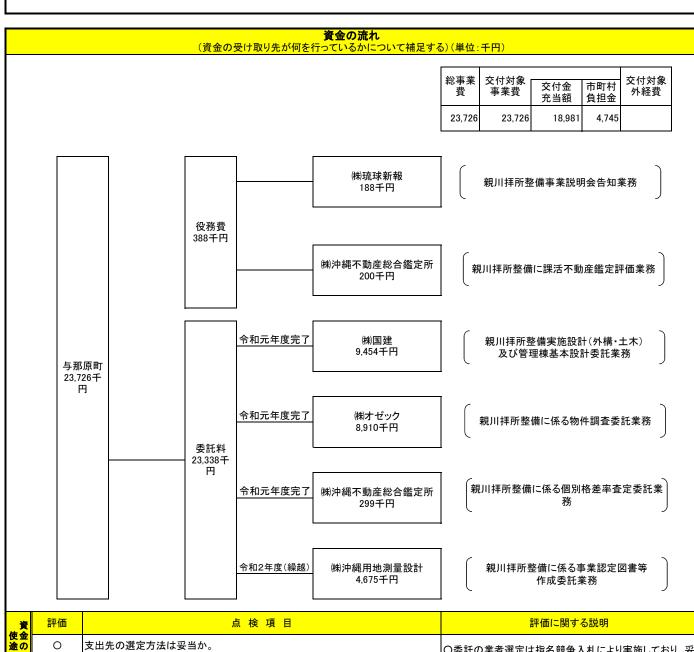
市町村名		与那原町											
•	令和	元年度(繰起	<mark>逑)沖縄振興特別</mark>	推進	交	付金事業	市田	T村分)	検証シ	ート	【公表用	]]	
事業番号	8 親川拝			<b>≢</b> 所整備事業				油盤	21世紀	第3章-1-(4)-ア			
事業名			4367113	-加亚岬尹木				本計画該	ー 沖縄の文化の源流を確認でき る環境づくり				
担当部課名	生涯学習振興課			事業実施 (予定)年度			沖紅	沖縄振興基本方針 該当箇所		Ⅲ-3-(2)			
事業内容	・親川整備実施設計業務(土木・外構)・管理棟基本設計を策定する ・親川拝所整備に係る物件調査業務を行う。 ・親川拝所整備に係る事業認定図書等の作成を行う。 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務を行う。												
効果発現年度	□当年度 ■後年度(R4年度)												
実施方法		直接実施	■委託  □補	助		]負担	□その	の他(	)				
			H30年度	R1年度			R1年度(繰越)			R2年度		₹ F	
	予	(a) 当初予算額				24,108							
	算	(b) 予算現額	29, 000	24,1		24,108							
	の状	(c) 増減額(b-a) (d) 繰越額		0		4.077		275					
予算額 · 執行額	況	(d) 繰越額 A. 計(b+d)	29.000		04100		4,675						
【単位:千円】		A. al (b+d) B. 執行済額	29,000		,		4,67						
(「交付金」+ 「市町村負担」	うち交付金充当額		22,852	- <b> </b>		4,076 3.740							
ペース)	次年度繰越額		<u> </u>	4,675									
	執行率 (%) (B/A)		98.5%			79.0%		100.0%					
	予算の状況の説明・事業認定申請の交渉の			千円は入札残の他、業務の繰越に伴い未執行となった事業認定申請手数料分である。 の際に地権者の同意に不測の日数を要し年度内の完了が困難となったため、事業認定図書作 5千円をR2年度に繰越した。									
		達成状況											
	R1活動目標(指標)					R1年	变	R2年	 :度	R	 3年度		
	・親川拝所整備実施設計(外構・土木)・管理棟 基本設計の策定				標績	親川広場基 (計及び管理 大川広場を 及び管理棟	t棟基 ) 第定 本設計 基本計	(	)	(	)	(	)
	カルキであたしなて かん 部本 类 み の 中 佐				標	<del> </del>	物件 )	(	)	(	)	(	)
	・親川拝所整備に係る物件調査業務の実施 			実	績	用地買収予 の物件調査	完了						
活動目標 (指標) 及び達成状況	・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務の			目	標	( 定業務(	0実 )	(	)	(	)	(	)
及び建成状况	実施 				績	個別格差率 務の完 <del>サ末応</del>	了	争未認	<b>走中</b>				
	・親川拝所整備に係る事業認定図書等作成業 務の実施				標	(請図書等	等の ) 施	( 請図書 作成: 事業認定:		(	)	(	)
					績	次年度約	<b>喿越</b>	等の作品					
	章 成 ・親川拝所整備実施設計(外構・土木)・管理棟基本設計を策定した。 ・親川拝所整備に係る物件調査業務を実施した。 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務を実施した。 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務を実施した。 令和2年度(令和元年度繰越分) ・親川拝所整備事業に係る事業認定申請図書等作成を実施した。												
		R1成果目	標(指標)			基準値 (年度)	F	R1年度	R2	年度	R3年原	隻	目標値 (R4年度)
	・親川拝所整備実施設計(外構・土木)・管理棟 基本設計の策定				標		) (計及	広場基本設 なび管理棟基 ) 計画の策定	(	)	(	)	( )
					績		計及	ム場基本設 び管理棟基 画の第定宝					
	・親川拝所整備に係る物件調査業務の実施				標	用地買収 ( ) ( 定6筆の 調査の 用・地買収		3筆の物件) 査の実施 員収了足の	( ) (		( )(		( )
					績			物件調査完 <sub>別格差金</sub>					/
	<ul><li>・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務の 実施</li></ul>				目標()			業務の実) <u>施</u> 格差率査定	) ( ) (			)	( )
成果目標	I			実	幁			務の完了					

及び進捗状況	・親川拝所整備に係る事業認定図書等作成業	目標	( )	事来認定甲 ( 請図書等の ) 作成宝施	● 乗級定甲 ( 請図書等の ) 作成宝施	( )	( )	
	務の実施	実 績		次年度繰越	事業認定申請図 書等の作成完了			
	【参考指標】		( )	( )	( )	( )	( 10,400 )	
	親川拝所及び広場来場者数10,400人以上	実 績						
	進 ・親川拝所整備実施設計(外構・土木)・管理棟基本設計を策定完了した。 ・親川拝所整備に係る物件調査業務を完了した。 ・親川拝所整備に係る個別格差率査定業務を完了した。 ・和2年度 ・親川拝所整備事業に係る事業認定申請図書等作成を完了した。							

取	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	<b>改善余地の検証</b> (効率の更なる向上の視点)					
組の検証	事業認定申請の交渉の際に、相続手続きに時間を要したことから、事業認定申請図書等の作成はR1年度内に完了しなかった。	地権者から同意を得ているものの用地購入や物件補償の際には、利害関係者に対して定期的に折衝して丁寧な説明を行い、事業を滞りなく進めていく。					
	今後の取り組み方針						
建築・整備工事のスケジュールを確認しながら計画内の事業完了を目指す。							



〇委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥

当であったと考えている。 〇予算規模については不用額は382千円であり、適正な 規模であったと考えている。 〇整備事業を進めるうえで必要な業務であり、業務内容に

ついても確認しており、適正であった。

0

0

0

の流

検、評費

価目

支出先の選定方法は妥当か。

受益者との負担関係は妥当であるか。

予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。

費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。